別紙３①：健康チェックシート①（選手・帯同者・役員用）

大会参加前 14 日、大会期間中、大会参加後 14 日それぞれ１枚使用すること。

（健康情報管理システム HeaLo の使用が望ましい）

健康チェックシート

※無か有かに○印を記入して下さい。

選手名：

		1	2	3	4	5	6	7
日付		/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）
体温	朝	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
風邪症状	のどの痛み	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
呼吸器症状	咳	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	息苦しさ	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	胸痛	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
感覚	味覚障害	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
体がだるい、重い、疲れやすい		無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
		8	9	10	11	12	13	14
日付		/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）	/ （　）
朝	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
咳 息苦しさ 胸痛	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
味覚障害	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
体がだるい、重い、疲れやすい		無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有

別紙３②：健康チェックシート②　（選手・帯同者・役員用、その他来場者大会当日用）
（選手・帯同者・役員は、健康情報管理システム HeaLo 又は、①との併用が望ましい）

日付
年　　　　　　　　月　　　　　　　日

名前

年齢

住所

連絡先－メールアドレス

連絡先－携帯電話番号

イベント当日の体温
℃

イベント前２週間における 以下の事項の有無

① 平熱を超える発熱
有　　　　　　無

②咳やのどの痛みなど風邪の症状
有　　　　　　無

③だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
有　　　　　　無

④嗅覚や味覚の異常
有　　　　　　無

⑤体が重く感じる、疲れやすい等
有　　　　　　無

⑥新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
有　　　　　　無

⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
有　　　　　　無

⑧過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国、
地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
有　　　　　　無

本チェックシートにより提出された情報は、本協会個人情報保護方針に基づいた取り扱いを行います

別紙：新型コロナウィルス感染拡大防止のお願い

A．大会期間中の健康管理について

- 来場予定の、全ての関係者(選手・帯同者・大会役員を含む)は、毎朝大会が定める時間までに検温をおこない、健康管理アプリ(HeaLo)等に健康状態を記録する。もしも発熱症状や体調不良の症状を認めた場合は、自宅又はホテルで待機する(会場には行かない)。保健所等医療機関に連絡を取り、指示に従う、合わせて大会本部(感染制御担当者)に連絡をする。
- 連絡を受けた感染制御担当は、対応を協議し、その結果をトーナメントディレクターに通知する。

- JTA 医事委員会は、大会におけるレッドアラート(COVID-19 を強く疑う症状)を以下の通りとしている。
  ①37.5℃以上
  ②強い倦怠感
  ③呼吸困難
  ④味覚障害

- 大会期間中にレッドアラートを認めた場合の判断について
  - 全てのカテゴリー（選手・帯同者・スタッフ全て）において、37.5 度以上の発熱を含むレッドアラートの症状を認めた場合、それ以降の全大会期間中の参加は認めない。選手は棄権とする。

  ロ37.5℃以上の発熱を含む有症状に対して、COVID-19 の迅速診断検査もあるが、感染初期段階ではウイルス量も少なく確実ではない(偽陰性)。大会期間中の感染拡大を予防する観点からも、たとえ解熱したとしてもそれ以降の参加は認めないことが望ましい。

- 大会期間中にレッドアラートを認めた場合の対応について
  - その段階で大会会場への入場は禁止し、その他関係者への接触も禁止する。基本は自宅もしくはホテルの自室で待機し、保健所、発熱外来や医療機関へ相談した上で、保健所の指示に従う。
  - 大会会場で発熱症状を認めた場合、隔離スペースで待機させ、保健所、発熱外来や医療機関へ相談した上で、保健所の指示に従う。
  - 対応する者は限定する。熱中症に留意しつつ、発症者・対応者ともにマスクを着用し、２ｍ以上の距離を確保することで濃厚接触者となるリスクを避ける。発症者に対応した者のリスト及び対応時間、状況を記録する。

  ロ発熱者が COVID-19 か否かは当初の段階では判断はつかない。現地で大会ドクターが診察して、異常なしと判断することは困難であり、むしろ濃厚接触者になる危険もあるため、発熱患者を会場で診察することは避け速やかに保健所に相談し、指定医療機関へ受診するべきと考える。

- 大会期間中に帯同者がレッドアラートを認めた場合の対応について
  - 常時一緒にいる帯同者が発熱などの症状が出てしまった場合、選手は濃厚接触者である可能性が高いため、たとえ選手が無症状であったとしても大会の参加は認めず、棄権とする。

  ロ選手と帯同者は表裏一体であり、選手は濃厚接触者である可能性が十分考えられる。たとえ選手は無症状であったとしても不顕性感染(細菌やウイルスなど病原体の感染を受けたにもかかわらず, 感染症状を発症していない状態)の可能性もあり、その選手が大会に参加して、勝ち上がっていった後に症状がでて、検査陽性となった場合、多くの人が濃厚接触者となってしまいます。より安全な大会運営を目指すという観点からも、帯同者が発熱症状を認めた時点で選手は棄権とすることが望ましく、このことは大会開催前に選手・帯同者に通達しておく必要がある。

B．大会開始前の健康管理について

- 大会前の 14 日間にレッドアラートを認めた場合の対応について
  - 大会前後 14 日間の健康チェック該当者は、毎朝大会が定める時間までに検温をおこない、健康情報管理アプリ（HeaLo）等に健康状態を記録する。もしも発熱症状や体調不良の症状を認めた場合は、自宅又は宿ホテルで待機し、大会本部（感染制御担当者）及び、保健所・かかりつけ医等地域の定めに従い連絡を取り、その指示に従う。
  - レッドアラートの報告を受けた感染症制御担当者は、該当者に電話・メールで連絡をとり、誤入力かどうか確認する。誤入力を確認した場合は、参加を承認する。
  - 健康状態に関するレッドアラート（体温、倦怠感、呼吸困難、味覚嗅覚異常）が、3 日間連続して報告された場合は、新型コロナウイルス感染の疑いがあるため、PCR 検査受診を求める。PCR 検査陰性証明書の提示により参加を承認する。
  - 濃厚接触者の指定・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方の確認が報告された場合は、基本大会参加不可。保健所等からの自宅待機の指示が無く、参加者本人の PCR 検査陰性証明書の提示された場合参加を承認する。
  - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、大会初日までに隔離期間が終了する場合は参加を承認する。

C．大会終了後の健康管理について

- 大会終了後 14 日間にレッドアラートを認めた場合の対応について
  - 大会前後 14 日間の健康チェック該当者は、大会終了後も引き続き毎朝大会が定める時間までに検温をおこない、健康情報管理アプリ（HeaLo）等に健康状態を記録する。もしも発熱症状や体調不良の症状を認めた場合は、自宅又は宿ホテルで待機し、大会本部（感染制御担当者）及び、保健所・かかりつけ医等地域の定めに従い連絡を取り、その指示に従う。
  - レッドアラートの報告を受けた感染症制御担当者は、該当者に電話・メールで連絡をとり、誤入力かどうか確認する。
  - 健康状態に関するレッドアラート（体温、倦怠感、呼吸困難、味覚嗅覚異常）が、3 日間連続して報告された場合は、新型コロナウイルス感染の疑いがあるため、PCR 検査受診を求める。検査結果が陽性の場合は、他の参加者にも通知をおこなう。
  - 濃厚接触者の指定・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方の確認が報告された場合は、接触の時期が大会終了後の場合、PCR 検査受診を推奨する。濃厚接触の時期が大会前、大会期間中の場合は PCR 検査受診を求める。検査結果が陽性の場合は、他の参加者にも通知をおこなう。